

令和7年11月21日（金）
香川県立三木高等学校
教頭 福井
教諭 山地
TEL 087-891-1100
FAX 087-891-1551



フィンランドの高校生が三木高校を訪問

令和7年12月8日（月）～10日（水）にフィンランドの高校生10名が、三木高校にやってきます。12月7日（日）に来県し、三木高生の自宅でホームステイをしながら、本校の授業と一緒に受講します。日本の学校の特色でもある毎日行う清掃活動まで取組み、日本の家庭生活と高校生活を体験します。

記

- 目 的** 日本の家庭生活や高校生活を体験するとともに高校生と交流を図る。
- 日 時** 12月8日（月）～10日（水） 9：00～12：40
来校時は三者懇談のため4時間授業。午後はバディとともに部活動に参加したり、ホストファミリーと観光に出かけたり各々の時間を過ごす予定。
- 来校予定** フィンランド ムンッキニエミ中等教育学校高等部（以下、ムンッカ高校）
生徒10名（男子6名、女子4名）引率教員2名
香川大学インターナショナルオフィス特命准教授 うえむら ゆ か こ 植村友香子
- 体験内容** それぞれバディを組む三木高生と授業と一緒に体験

特色のある授業

12月9日（火）9：50～10：30（2校時）

総合学科2年「進路探究」（総合的な探究の時間）にて三木高生74名と交流

12月10日（水）11：30～12：10（4校時）

総合学科1年「多文化共生」にて三木高生59名と交流

ムンッカ高校生によるフィンランドの紹介・発表

バディ 香川県立三木高等学校 総合学科2年生22名

三木高校とムンッカ高校との交流について

令和6年に国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)のさくらサイエンスプログラム【ジオから学ぶ瀬戸内の産業と文化】で香川に来県した。その際に招へい元である香川大学国際ナショナルオフィスの植村友香子特命准教授の計らいにより三木高校の生徒と交流を図ることになった。

今年度からは、ムンッカ高校から直接依頼を受け、上記プログラムから独立した形で交流を図ることになった。

ムンッカ高校での日本についての学び

「日本文化と日本理解」という授業の一環として香川県を訪問する。フィンランド語に訳された日本の小説を読みレポートを書いて話し合ったり、明治時代以降の日本の歴史について学びを進めている。

今年9月には植村特命准教授がムンッカ高校を訪れ、日本語の基本文型やあいさつの定型文について説明を行った。

※昨年の交流の様子

総合学科2年「進路探究」での交流会



ランチタイム



清掃活動

